

吉田劇場 ICTの潮流

（目から鱗の事例紹介満載！）

～ICTの進化により消費者の消費動向・生活スタイルが大きく変わる～

～吉田劇場とは、国内外のサービストレンドを“映像”を駆使した劇場型プレゼンテーションです。決済・オムニチャネル・IOT・訪日観光客・オリパラ等における多数の最新事例を、怒涛の90分喋り倒します。

眼から鱗、情報の洪水、感動、疲労感、爽快感・・・感じ方は皆様次第です。

どうぞ、映画を1本鑑賞されるような、気軽な気分でご覧頂ければ幸甚でございます。～

日 時 : 平成 27 年 2 月 10 日 (火) 14:00～17:00

〈講演/質疑〉 14:05～15:50

(受付開始 13:30～)

〈座談会〉 16:00～17:00

会 場 : 愛媛県男女共同参画センター／研修室
(松山市山越町450番地)

定 員 : 100名 (定員になり次第、受付を終了いたします)

受講料 : 無料 (受講申込書により要予約)

講 師 : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

シニアスペシャリスト 吉田 淳一 氏

主 催 : 公益財団法人えひめ産業振興財団



【講演の趣旨】

10億年前に地球上に生命が誕生・・・そして5億3千年前に突如一斉に多様な生物が現れた『カンブリア大爆発』・・・現代は逆に、PCやスマートフォンといったIT機器をはじめ、自動車や家電、家、或いは眼鏡、時計、アクセサリ・・・など身につけるモノ、果てはヒトまで、これまでネットワークとは無縁だったモノが現実次々とネットと結合・・・そして、遂に！1兆個のデバイスが、急速にネット接続されようとしている・・・

所謂、『カンブリアン・ワン』（登壇者命名）現象のごとく、情報のベクトルは、拡散から融合に向かい、それにより新たな情報・価値創造が期待されている・・・

片やヒトは、孤独を嫌い、他人と付かず離れずの緩い関係とコミュニケーションをより嗜好し、常に情報に飢えているように思える・・・これって「情報」に対するチェリーピッカー現象とも・・・

さて、日本は、『2020年のイベント』を契機にどのような社会と変貌していくのか？・・・少子高齢化による人口減少、製造業の海外シフトによる国内空洞化等、どこの国よりも課題の先取りが始まっている。また2020年には、政府の成長戦略として訪日観光客2,000万人が大挙して押し掛ける所謂「観光立国」としての「おもてなしインフラ整備」が急務となる・・・これらの様々な変化にICTが担う役割とは？今回は、効率化やコストリダクション等の経営的視点ではなく、企業ブランディングと消費者とのコミュニケーション醸成の観点によるヒューマン・タッチな国内外のICTサービスを探ってみたいと思います。

吉田劇場 ICTの潮流（目から鱗の事例紹介満載！）

受講申込書

申込締切日：平成27年2月5日（木）
（定員100名になり次第、受付を終了いたします）

貴社名			
住所			
TEL		FAX	
連絡担当者	役職		
	氏名		
	メールアドレス		
役職	受講者氏名		

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他の目的には一切利用いたしません。

＜受講申込書は当財団ホームページ

<http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/information/ITstudy/20150210moushikomi.doc>
からダウンロードできます。＞

◆お申込み方法

必要事項をご記入のうえ、FAXかEメールにてご返信頂けますようお願い致します。
あて先は以下のとおりです。

FAX 089-960-1107 **Eメール** ouen@ehime-iinet.or.jp

＜お問い合わせ先＞

公益財団法人えひめ産業振興財団（松山市久米窪田町 487-2）
企画情報課 担当：神尾・竹村 TEL：089-960-1110

★会場周辺マップ

会場：愛媛県男女共同参画センター／研修室

所在地：松山市山越町450番地

JR松山駅前から、市内電車環状線で8分（本町6丁目停留所下車）、徒歩3分。

伊予鉄松山市駅から、市内電車環状線で15分（本町6丁目停留所下車）、徒歩3分

